

プロバイダ様向け

改訂について (2025年5月改訂)

【プロバイダー様向け】2025年5月設問改訂概要

今回の改訂では、ご要望への対応や、回答及び評価内容の正確性向上を目的として設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

改訂背景・目的	主な改訂内容（カッコ内はv2024.2の設問番号）
1. 利用ユーザーの動向	- クラウドサービスプロバイダー（CSP）によるデータ削除の対象に、バックアップを含むことを明記（AS-3） - サービスアカウントの管理体制や認証の方法について設問を追加（AC-7, AC-10） - CSPが保持するログの有無について等設問で、ログの粒度を分解（OP-8） - クラウドサービス利用者（CSC）のログの閲覧について、機能外での提供などを設問に追加（AT-1～AT-4） - AI系のサービスで、入力データを学習に利用させない設定の可否を設問に追加（AI-2）
2. 評価品質の向上	- 動向に応じた設問内容の変更、及び回答不要な設問をスキップ可能とする構成の変更（DTおよびLO全設問） - SSOなど、認証機能をサービス外で担う場合に対応した設問の見直しと構成の変更（AC-14, AC-15, AC-16, AC-17） - 設問意図を正確に伝えるための設問表現の見直し（OR-1, EM-1, EM-2, PH-1, OP-16, EF-3など）
3. トрендへの対応	セキュリティガバナンス体制に関する設問の追加（OR-2）

※このほか、整理や軽微な文言修正などがございます。詳細は新旧対応表をご確認ください。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問改訂概要

DT・LO項目の再編成

現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）
（DT-1） 預託データについて、定めていることをすべて選択してください。	・ DT-2に移行し、回答選択肢を拡張
（DT-2） クラウドサービスで取得している情報をすべて選択してください。	・ DT-1に移行し、回答選択肢を拡張
（DT-3） サービス利用者の個人情報に関する第三者提供について、該当するものをすべて選択してください。	・ 設問を再構成 ・ 第三者提供はDT-9、匿名化はDT-6に集約
（DT-4） サービス利用者の個人情報をサービス提供以外の目的で利用していますか。該当するものをすべて選択してください。	・ 設問を再構成 ・ 匿名化はDT-6、データの利用目的はDT-2に集約
（DT-5） 預託データを第三者提供していますか。	・ 設問を再構成 ・ 個人データの第三者提供についてDT-6に集約
（DT-6） 預託データをサービス提供以外の目的で利用していますか。	・ 設問を再構成 ・ 典型的な利用目的を列挙し、DT-2に集約
（DT-7） 預託データの利用にあたり、契約や規約等にて利用目的として定めていることをすべて選択してください。	・ 設問を再構成 ・ 典型的な利用目的を列挙し、DT-2に集約
（DT-8） Cookieや位置情報、IPアドレス等のオンライン識別子の利用について、対応していることをすべて選択してください。	・ DT-10に移行
（DT-9） 外部委託先が預託データを取り扱うことはありますか。	・ 設問を再構成 ・ DT-5およびDT-7に分割
（DT-10） 外部サービスの利用や外部委託等により預託データが他国に保管されることはありますか。	・ LO-1に集約
（DT-11） 預託データが他国からアクセスされることはありますか（外部サービスの利用や外部委託等によるアクセスを含む。利用者によるアクセスは含みません）。	・ LO-2に移行
（DT-12） 日本国外に所在する第三者に対して委託のため個人情報を提供する場合、当該第三者との間で合意していることをすべて選択してください。	・ LO-3として再構成
（DT-13） 外部委託先や外部サービスに個人情報が委託されることはありますか。委託がある場合は委託先を公開していますか。	・ DT-8として再構成

要素を再構成した設問に関しては、個別の改訂内容紹介や新旧対象表において、移行関係でなく削除・新規作成と表現されているケースがございます。
全体像は別途新旧対照表をご確認ください。改訂版の文言は最終リリースまでに修正される場合があります。

【プロバイダー様向け】 2025年5月設問改訂概要

AC項目の再編成

現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）
（AC-14）サービス利用者のアカウントについて、実施していることおよび実施可能なことをすべて選択してください。	・ 前段の分類として、AC-14を追加 ・ 認証の方法に関する要素をAC-15に抽出 ・ 個別の認証手段や関連仕様をAC-16に抽出 ・ 認証以外のアクセス制限要素をAC-17に抽出
（AC-15）サービス事業者（貴社）が利用するサービス運営のための機能や管理画面等がありますか。	・ AC-18に移行
（AC-16）サービス事業者（貴社）従業員が利用するサービス運営のためのアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	・ 認証の方法に関する要素をAC-19に抽出 ・ 認証以外のアクセス制限要素をAC-20に抽出
（AC-17）クラウドサービスの開発、保守および運用において利用するインフラやデータベース、IaaS等のアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	・ 認証の方法に関する要素をAC-21に抽出 ・ 認証以外のアクセス制限要素をAC-22に抽出

要素を再構成した設問に関しては、個別の改訂内容紹介や新旧対象表において、移行関係でなく削除・新規作成と表現されているケースがございます。
全体像は別途新旧対照表をご確認ください。改訂版の文言は最終リリースまでに修正される場合があります。

プロバイダー様向け

設問ごとの変更点について

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- DT・LO項目の再編成

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（DT-2）クラウドサービスで取得している情報をすべて選択してください。	（DT-1）クラウドサービスで取得する情報（預託データ）をすべて選択してください。 [設問補足] サービス上で取得・取り扱う情報のうち、法規制や業界基準などにより慎重な取り扱いが必要となる情報に関する設問です。例えば、アカウント発行のために利用する氏名やメールアドレスは個人情報として回答対象になります。一方、サービスで取得、取り扱わない次のような情報は対象外になります。例：契約のために書面で取得した担当者の氏名、非通過型のクレジットカード決済時のカード情報。なお、個人情報についてはGDPR上のControllerとして取得する場合だけでなく、Processorとしての取得も対象となります。	・クラウドサービスが取得するデータについて、回答のガイドラインを記載して対象を明確化しました。 ・個人情報保護法上、データそのものの性質や併せて取得される情報などを加味して個人情報に該当するかを確認する必要があるメールアドレス等のデータについて、基本的には回答対象として取り扱うこととしました。 ・GDPR上はControllerでなくProcessorに当たるため対象外であるという趣旨の回答が多くあったため、後者の場合も回答対象となるという説明を記載しました。
回答選択肢	☐氏名 ☐メールアドレス ☐要配慮個人情報 ☐マイナンバー ☐クレジットカード情報 ☐Cookie ☐位置情報 ☐その他 ・詳細を記載してください ☐該当なし ☐非公開	☐個人を識別可能な情報 ☒氏名やメールアドレス ☒要配慮個人情報 ☒マイナンバー ☒その他 ・詳細を記載してください ☐個人関連情報 ☒Cookie(クラウドサービスの提供にあたり必須のCookieを除く) ☒位置情報 ☒その他 ・詳細を記載してください ☐クレジットカード情報 ☐その他 (詳細) ☐サービスを通じての情報取得はない ☐非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- DT・LO項目の再編成

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（DT-1）預託データについて、定めていることをすべて選択してください。	（DT-2）預託データについて、利用規約などで定めていることをすべて選択してください。	・既存の回答選択肢について、いくつかのパターンで詳細な選択肢を追加しました。
回答選択肢	☐秘密情報の定義 ☐第三者への開示の禁止 ☐目的外利用の禁止 ☐その他 ☐該当なし ☐非公開	☐データの機密性確保 ☒秘密・機密情報としての取り扱い ☒第三者への開示の禁止 ☒漏えい等発生時にクラウドサービス利用企業へ即時に通知 ☐データ利用目的の規定 ☒サービス提供・保守・障害調査等 ☒サービスの改善・向上 ☒研究・開発 ☒ニュースレターなどの情報提供（サービスの提供に係るもの以外） ☒目的外利用の禁止 ☒その他の目的（詳細） ☐預託データに関する権利のクラウドサービス利用企業への帰属 ☐その他 ☐利用規約などに上記のような定めはない ☐非公開	・預託データの利用目的について定める設問を、目的外利用の禁止の選択肢に合わせる形でマージしました。
			・データに関する権利がサービス利用者に帰属するかを確認する選択肢を追加しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

DT・LO項目の再編成			改訂要旨
	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	
設問	（新規追加）	（DT-3）クラウドサービスで個人を識別可能な情報を含む情報（個人データ）を取得する場合、その本人（データ主体）として当てはまる主体をすべて選択してください。	・（DT-3）個人情報の主体である「本人」の所属先を明確にする設問を追加しました。
回答選択肢	—	☐ クラウドサービス利用企業の従業員 ☐ クラウドサービス利用企業から見た外部の個人（取引先や採用候補者など） ☐ その他 ☐ 非公開	
設問	（新規追加）	（DT-4）個人データを取得する場合、取り扱いの有無について選択してください。 [設問補足]ここで取り扱わないとは、契約条項によってデータを取り扱わない旨を定めていて、かつ適切にデータへのアクセスを制御していることを指します。	・（DT-4）いわゆる「クラウド例外(*)」の適用有無について確認する設問を追加しました。
回答選択肢	—	☐ 取り扱う ☐ 取り扱わない ☐ その他 ☐ 非公開	

(*) 個人情報保護委員会 ガイドライン（通則編）に関するFAQ7-53
https://www.ppc.go.jp/all_faq_index/faq1-q7-53/

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● DT・LO項目の再編成			
	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（DT-5）個人データを取り扱う場合、その方法は以下のいずれに当たりますか。当てはまるものを全て選択してください。	・（DT-5）クラウドサービス事業者に預託された個人データが、第三者にデータ移転され得るか、あるいは内部利用に止まるかを確認する設問を追加しました。
回答選択肢	—	☐ 社内利用 ☐ 第三者への移転（データの提供および、委託先等の社外の第三者によるデータへのアクセスを含む） ☐ その他 ☐ 非公開	
設問	（新規追加）	（DT-6）個人データを取り扱う場合に、当該データを法令上規制のある形で加工しますか。当てはまる加工方法を全て選択してください。	・（DT-6）預託された個人データが法的に規定された方法で加工されるかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢	—	☐ 匿名加工情報 ☐ 仮名加工情報 ☐ 上記の形では加工せず取り扱う ☐ 非公開	
設問	（新規追加）	（DT-7）個人データの第三者への移転がある場合、どのような枠組みでデータを受け渡しますか。当てはまるものを全て選択してください。	・ 個人データを第三者に移転する場合に、再委託に当たるか、第三者提供に当たるかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢	—	☐ 処理の委託 ☐ 第三者提供 ☐ その他 ☐ 非公開	
設問	（新規追加）	（DT-8）個人データの処理を第三者に委託する場合、関連法令の要求に従い、適切に委託先の監督を実施していますか。	・ 再委託を実施する場合に、個人情報保護法等の法令に従い、再委託先を適切に監督しているかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢	—	☐ はい ☐ いいえ ☐ 非公開	



【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● DT・LO項目の再編成			
現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（DT-9）個人データを第三者提供する場合、本人の同意を取得するなど、適切な手続を確認して提供していますか。	・ 個人データを第三者提供する場合に、本人同意等の適切な手続を実施した上で提供を行っているかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢		○はい ○いいえ ○非公開	
設問	（DT-8）Cookieや位置情報、IPアドレス等のオンライン識別子の利用について、対応していることをすべて選択してください。	（DT-10）Cookie(クラウドサービスの提供にあたり必須のCookieを除く)や位置情報、IPアドレス等のオンライン識別子を取得する場合、利用規約などで対応していることをすべて選択してください。	・ CookieはWeb上で広く一般的に利用されるサービスであるため、例えばGDPR上Strictly necessary Cookieなどとして規制の例外となっているものを除外する趣旨で設問の表現を見直しました。
回答選択肢	☐ 事前に同意を得ている ☐ 利用停止の方法を明記している ☐ 利用するCookieを明記している ○未実施 ○オンライン識別子の利用なし ○非公開	☐ 事前に同意を得ている ☐ 利用停止の方法を明記している ☐ 利用するCookieを明記している ○未実施 ○非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

DT・LO項目の再編成			
	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（LO-1）サービス提供のため利用しているデータセンターのリージョンやエリアをすべて選択してください（バックアップ用途を含む）。 [設問補足] 保守運用で用いるSaaS等に関するリージョンやエリアは除く	（LO-1）データセンターやIaaSのリージョンなど、預託データを保管するために利用する施設の所在地をすべて選択してください。 [設問補足] バックアップ等の用途で用いられるサーバーの所在地を含みます。ユーザーのデータを保管しない社内サーバー等の所在地は除きます。	・国名や地域名の表記を見直しました。また、英国の扱いが不明瞭だったため、EUおよび英国という記載に更新いたしました。 ・バックアップ等で用いられるサーバーにもデータが保管される可能性があるため、設問の回答対象として明示的に含めるよう表現を見直しました。
回答選択肢	☐ 日本 ☐ US ・州名を記載してください ☐ EU ・詳細を記載してください ☐ 中国 ☐ その他 ・詳細を記載してください ☐ 非公開	☐ 日本 ☐ アメリカ合衆国 ・州名を記載してください ☐ 欧州連合（EU）および英国 ・国名を記載してください ☐ 中華人民共和国 ☐ その他 ・詳細を記載してください ☐ 非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

●DT・LO項目の再編成

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（LO-3）個人データなど、法規制のかかるデータを日本国外に保管するか、または日本国外の主体がデータにアクセスする場合、法的な根拠を確認・評価して実施していますか。	・ 第三国に個人データを越境移転する場合に、関連する規制の法的根拠を評価した上で実施しているかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢	—	○ケースに応じ、適切な法的根拠を確認して実施している ○確認せずに実施している ○対象となるデータや運用はない ○非公開	
設問	（新規追加）	（LO-3）個人データなど、法規制のかかるデータを日本国外に保管するか、または日本国外の主体がデータにアクセスする場合、法的な根拠を確認・評価して実施していますか。	・ 第三国に個人データを越境移転する場合に、関連する規制の法的根拠を評価した上で実施しているかを確認する設問を追加いたしました。
回答選択肢	—	○ケースに応じ、適切な法的根拠を確認して実施している ○確認せずに実施している ○対象となるデータや運用はない ○非公開	

●セキュリティガバナンス体制に関する設問の追加

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（OR-2）承認されていないもしくは意図しない変更や不正利用のリスクを低減するため、組織の役割と責任に応じて情報資産へのアクセスや閲覧、修正等の権限を分離していますか。	（OR-2）クラウドサービスのセキュリティリスク管理として実施していることをすべて選択してください。	・ ガバナンスに関する設問であることを明確化し、リスクへの対応計画や経営層への報告などを確認する設問に変更いたしました。
回答選択肢	☐ 分離していて、定期的に見直ししている ☐ 分離しているものの、定期的に見直ししていない ☐ 分離していない ☐ 非公開	☐ セキュリティリスクへの対応計画を策定している ☐ 経営層が対応計画を承認している ☐ 経営層に対応進捗・結果などが報告されている ☐ 定期的なセキュリティリスク評価を行っている ☐ 実施していない ☐ 非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問のスコープを明確化

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AS-3）サービス利用終了時またはサービス利用者からの指示があった場合、預託データやサービス利用者が作成したデータを返却したり削除できますか。可能なものをすべて選択してください。	（AS-3）サービス利用終了時またはサービス利用者からの指示があった場合、預託データやサービス利用者が作成したデータを返却したり削除できますか。可能なものをすべて選択してください。 [補足] 対象となるデータにはバックアップデータなども含めてご回答ください	・バックアップのデータについて、回答対象に含めるか否かに幅があったため、設問の対象に含むことを明確化しました。 ・「自動削除」という記載が全自動の手続きを意味するものと解されるケースが多かったため、選択肢の表現を変更しました。
回答選択肢	☐返却・ダウンロード ・データ形式や受渡方法（自由入力） ☐利用終了後に自動削除 ・削除までの時間 ☐ユーザー要望を受けた場合に削除 ・削除までの時間 ☐削除証明書の発行が可能 ☐返却・削除ができず残存するデータがある ・データの内容（自由入力） ☐非公開	☐返却・ダウンロード ・データ形式や受渡方法（自由入力） ☐利用終了時に削除 ・削除までの時間 ☐サービス利用者の要望を受けた場合に削除 ・削除までの時間 ☐削除証明書の発行が可能 ☐返却・削除ができず残存するデータがある ・データの内容（自由入力） ☐非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問のスコープを明確化

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AC-7）クラウドサービスのコンポーネントにおいて、管理者権限や特権的ユーティリティのアクセス制限として実施していることをすべて選択してください。	（AC-7）クラウドサービスのコンポーネントにおいて、管理者権限を保持する特権的ユーティリティおよびサービスアカウントのアクセス制限・権限管理として実施していることをすべて選択してください。	・ サービスアカウントの利用について、設問のスコープに明示的に追加いたしました。
回答選択肢	☐ 管理者権限でのログインおよびクラウドサービスへのアクセスは必要な場合のみ実施している ☐ Webサーバやアプリケーションサーバのプロセスを管理者権限以外で起動している ☐ サービスやデーモン、プロトコルは必要なもののみ設定および起動をしており、不要なものは起動できないようにしている ☐ 該当なし ☐ 非公開	☐ 用途以上に必要な権限を付与していない（ウェブサーバやアプリケーションサーバのプロセスを管理者権限以外で起動しているなど） ☐ サービスやデーモン、プロトコルは必要なもののみ設定および起動をしており、不要なものは起動できないようにしている ☐ ログインが必要なサービスアカウントについて十分な認証を行い、ログインが不要なサービスアカウントについては技術的にログイン不可としている [補足] デフォルトパスワードの利用などは十分な認証とは言えません。 ☐ 該当なし ☐ 非公開	・ サービスアカウントについて、ツールやサービスへのログインが必要な場合には、十分な強度の認証を実施しているか否かを確認する選択肢を追加しました。

・ 十分な認証のレベルは対象となるサービスアカウントごとに異なると考えられるため、一般的に、例えばデフォルトパスワードの利用などは不十分である旨を例示しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を見直し

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AC-10）クラウドサービスの開発、保守および運用において、不要または一定期間使用していないアカウントを無効化あるいは削除していますか。	（AC-10）クラウドサービスの開発、保守および運用において使われるアカウントについて対処していることを選択してください。	・アカウント管理に関する文書や規定について確認する内容から、アカウントの把握や管理そのものに注目した設問に更新しました。
回答選択肢	☐ 手続きを文書化している ☐ 定期的に文書の内容を見直している ☐ 都度無効化・削除している ☐ 棚卸している ・実施頻度 ● 月次 ● 四半期 ● 半期 ● 年次 ● 不定期 ☐ 未実施 ☐ 非公開	☐ すべてのアカウントを把握している、もしくは把握可能となっている ☐ 不要となった際に無効化・削除している ☐ 棚卸している ・実施頻度 ● 月次 ● 四半期 ● 半期 ● 年次 ● 不定期 ☐ 未実施 ☐ 非公開	・「都度無効化」について、表現を明確にし理解しやすいよう変更しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● 認証に関するAC項目の再構成

現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（AC-14）クラウドサービス利用者がサービスを利用する際の認証機能について、該当するものを選択してください。	・ユーザーの認証手段として、サービス独自の認証機構ではなく、SSO等の認証連携機能が利用可能なサービスが増加しています。
回答選択肢	—	☐ サービス自身が認証機能を提供している ☐ 外部IDプロバイダーとの認証連携機能（SSOなど）を提供している ・ 認証連携に利用可能なプロトコル ☐ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ ログインが不要など、ユーザーの認証が不要 ・ 認証機能が不要な理由 ☐ 非公開	・この状況を反映し、認証連携機能の有無について確認する設問を追加しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● 認証に関するAC項目の再構成			
現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（AC-15）クラウドサービス利用者がサービスを利用する際の認証機能のうち、サービス自身が提供している機能について該当するものを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。なお、一般、管理者アカウント間で設定が異なるなど、複数の仕様がある場合は補足に詳細を記載してください。	・SSO等の認証連携機能を分離し、サービス独自の認証機能についての設問であることを明確化しました。 ・多要素認証の手段として、パスキー認証（FIDO認証）を選択するケースが増加してきたため、認証の選択肢にこれを加えて再構成しました。
回答選択肢	—	○多要素認証が適用されている ■パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ■パスワード＋ユーザー個別の証明書 ■パスワード＋セキュリティキー ■パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ■その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○パスワード以外の単一要素認証で認証されている ・認証方法を記載してください ○パスワードでのみ認証されている ○非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 認証に関するAC項目の再構成

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AC-14）サービス利用者のアカウントについて、実施していることおよび実施可能なことをすべて選択してください。		
回答選択肢	☐ IDは各個人に発行し、利用者を特定できる仕様としている ☐ パスワード認証 ■ パスワードに最小の文字数を設定している ・ 最小文字数を記載してください ■ パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■ 脆弱なパスワードを制御する機能がある ・ 制御機能の詳細を記載してください ■ パスワードは利用者自身が登録する仕様となっている ■ パスワードの再発行を行う際は本人しか知りえない情報等で本人確認をしている ■ その他のパスワードポリシー ・ 詳細を記載してください ☐ ワンタイムパスワード認証 ・ スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください ☐ ユーザーごとの証明書による認証 ■ ICカード ■ 利用者端末への個別配布 ☐ 生体認証 ・ 詳細を記載してください ☐ その他の認証方法 ・ 詳細を記載してください ☐ 指定回数続けて認証に失敗したアカウントはロックまたは一定期間認証を不可としている ・ 回数を記載してください ☐ セッションの有効期限を設けている ・ 有効期限を記載してください ☐ リスクベース認証を用いることができる ・ 具体的な認証方法を記載してください ☐ ネットワーク経路や端末による接続制限ができる ■ IPアドレス ■ 複数のユーザーで共有されるクライアント証明書 ☐ IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を用いることができる ・ 利用可能なSSOプロトコルを記載してください ☐ 管理者権限アカウントと一般アカウントで異なる認証ポリシーを設定できる ・ 詳細を記載してください ☐ 未実施 ・ 詳細を記載してください ☐ 非公開	☐ パスワードを利用する場合に安全性を確保する機能がある ■ パスワードの最小文字数を設定している ・ 最小の文字数 ■ パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■ 脆弱なパスワードを制御する機能がある ・ 詳細 ■ パスワードは利用者自身が登録する ■ パスワードはソルト付きハッシュで保管される ☐ リスクベース認証が導入されている ・ リスクベース認証として実施していること ☐ 管理者権限アカウントと一般アカウントで異なる認証ポリシーを設定できる ☐ 複数回認証に失敗した場合はアカウントをロックする ・ 回数 ☐ 認証情報の再発行時に本人確認をする ☐ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ 該当無し ☐ 非公開	・ パスワードをはじめとする認証の詳細に関する設問を切り出しました。 ・ パスワード保管時のハッシュ化、ソルト付与について、暗号に関する設問CRから本設問に移設しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● 認証に関するAC項目の再構成			
現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（AC-17）クラウドサービス利用者のアクセス制御について、実施可能な機能をすべて選択してください。	・（AC-17）認証以外のアクセス制御機能について切り出しました。
回答選択肢	—	☐ アカウントはユーザー毎に発行可能 ☐ IPアドレスによるアクセス制限 ☐ 利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 ☐ アプリケーションのセッションタイムアウト ☐ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ 該当無し ☐ 非公開	・（AC-18）回答の対象を明確にするため、設問の表現を見直しました。
設問	（AC-15）サービス事業者（貴社）が利用するサービス運営のための機能や管理画面等がありますか。	（AC-18）クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のための機能や管理画面などがありますか。	
回答選択肢	☐ はい ☐ いいえ ☐ 非公開	（変更なし）	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 認証に関するAC項目の再構成

現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（AC-19）クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のためのアカウントについて、SSOログイン認証を含めて、認証として該当するものを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。	・プロバイダーが開発や運用に利用するアカウントについてSSOを用いている場合は、これを織り込んで回答するよう明記しました。 ・AC-14やAC-15で、サービス利用者がSSOを使用可能な場合とは区別しています。この場合には、利用者がIdPを選定するまで、認証手段や強度が確定しないためです。 ・AC-15と同様、認証の手段としてパスキー認証（FIDO認証）を回答選択肢に取り込みました。
回答選択肢	—	○管理画面や管理ツールのすべてのユーザーアカウントに対して多要素認証が適用されている ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○管理画面や管理ツールのユーザーアカウントの一部に多要素認証が適用されている ・多要素認証が適用されているアカウントの範囲 ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○管理画面やツールを利用する全てのユーザーアカウントが単一認証で認証されている ・該当する認証要素を選択してください ●パスワード ●その他の単一認証 ・認証方法を記載してください ○未実施 ・詳細を記載してください ○非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 認証に関するAC項目の再構成

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AC-16）サービス事業者（貴社）従業員が利用するサービス運営のためのアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	（AC-20）クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のためのアカウントのアクセスについて、追加で制御していることをすべて選択してください。	・ AC-16、AC-17と同様に、認証の詳細やアクセス制御機能について切り出しました。
回答選択肢	☐パスワード認証 ■パスワードに最小の文字数を設定している ・最小文字数を記載してください ■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■脆弱なパスワードを制御する機能がある ・制御機能の詳細を記載してください ■パスワードは利用者自身が登録する仕様となっている ■パスワードの再発行を行う際は本人しか知りえない情報等で本人確認をしている ■その他のパスワードポリシー ・詳細を記載してください ☐ワンタイムパスワード認証 ・スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください ☐ユーザーごとの証明書による認証 ■ICカード ■利用者端末への個別配布 ☐生体認証 ・詳細を記載してください ☐その他の認証方法 ・詳細を記載してください ☐指定回数続けて認証に失敗したアカウントはロックまたは一定期間認証を不可としている ・回数を記載してください ☐セッションの有効期限を設けている ・有効期限を記載してください ☐リスクベース認証を用いることができる ・具体的な認証方法を記載してください ☐ネットワーク経路や端末による接続制限ができる ■IPアドレス ■複数のユーザーで共有されるクライアント証明書 ☐IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を実施している ・利用可能なSSOプロトコルを記載してください ☐未実施 ・詳細を記載してください ☐非公開	☐IPアドレスによるアクセス制限 ☐利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 ☐アプリケーションのセッションタイムアウト ☐パスワードを利用する場合に最小文字数を設定している ・パスワード長 ☐その他 ・詳細を記載してください ☐未実施 ☐非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AC-17）クラウドサービスの開発、保守および運用において利用するインフラやデータベース、IaaS等のアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	（AC-21）クラウドサービスの開発、保守および運用に携わる要員が利用するインフラやデータベース、IaaSなどのアカウントについて、SSOログイン認証を含めて実施していることを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。	・AC-19と同様、SSOによるログイン認証をスコープに含めるよう明記し、FIDOを回答選択肢に取り込みました。
回答選択肢	☐パスワード認証 ■パスワードに最小の文字数を設定している ・最小文字数を記載してください ■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■脆弱なパスワードを制御する機能がある ・制御機能の詳細を記載してください ■パスワードは利用者自身が登録する仕様となっている ■パスワードの再発行を行う際は本人しか知りえない情報等で本人確認をしている ■その他のパスワードポリシー ・詳細を記載してください ☐ワンタイムパスワード認証 ・スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください ☐ユーザーごとの証明書による認証 ■ICカード ■利用者端末への個別配布 ☐生体認証 ・詳細を記載してください ☐その他の認証方法 ・詳細を記載してください ☐指定回数続けて認証に失敗したアカウントはロックまたは一定期間認証を不可としている ・回数を記載してください ☐セッションの有効期限を設けている ・有効期限を記載してください ☐リスクベース認証を用いることができる ・具体的な認証方法を記載してください ☐ネットワーク経路や端末による接続制限ができる ■IPアドレス ■複数のユーザーで共有されるクライアント証明書 ☐IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を実施している ・利用可能なSSOプロトコルを記載してください ☐未実施 ・詳細を記載してください ☐非公開	☐緊急用アカウントなどの例外を除き、適用可能なすべてのユーザーアカウントに対して多要素認証が適用されている ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ☐ユーザーアカウントの一部に多要素認証が適用されている ・多要素認証が適用されているアカウントの範囲 ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ☐すべてのユーザーアカウントが単一認証で認証されている ・該当する認証要素を選択してください ●パスワード ●その他の単一認証 ・認証方法を記載してください ☐未実施 ・詳細を記載してください ☐非公開	

改訂版の文言は最終リリースまでに修正される場合があります。



【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 認証に関するAC項目の再構成

現行（v2024.2）		改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（新規追加）	（AC-22）クラウドサービスの開発、保守および運用に携わる要員が利用するインフラやデータベース、IaaSなどのアカウントのアクセスについて、追加で制御していることをすべて選択してください。	・ AC-16、AC-17、AC-20と同様に、認証の詳細やアクセス制御機能について切り出しました。
回答選択肢	—	☐ IPアドレスによるアクセス制限 ☐ 利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 ☐ アプリケーションのセッションタイムアウト ☐ パスワードを利用する場合に最小文字数を設定している ・ パスワード長 ☐ その他 ☐ 未実施 ☐ 非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を追加

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（OP-8）取得しているログをすべて選択し、保管期間を記載してください。	（設問に変更なし）	・障害やイベントログ等について、広範なログを含みうるため、内容を類型化した選択肢を追加しました。
回答選択肢	☐ 例外処理や誤操作によるエラー、システム障害、セキュリティインシデントに関するイベントログ ・保管期間を記載してください ☐ サービス利用者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください ☐ システム管理者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください ☐ ログは取得していない ☐ 非公開	☐ 例外処理や誤操作によるエラー、システム障害、セキュリティインシデントに関するイベントログ ■ アプリケーションのログ ・保管期間を記載してください ■ インフラ（ネットワークやIaaS環境など）のログ ・保管期間を記載してください ■ その他 ・ログの詳細および保管期間を記載してください ☐ サービス利用者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください ☐ システム管理者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください ☐ ログは取得していない ☐ 非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● 同種の設問の集約			
	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（NW-2）外部および内部からの不正アクセスを防止するためにファイアウォールを設置していますか（WAFは除く）。	（NW-2）クラウドサービスのネットワークセキュリティ対策について、採用しているツールやサービスを選択してください。	・ IaaSベンダーでのネットワークセキュリティ機能の提供形態を考慮し、設問の見直しと関連する設問を統合しました。 ・ 設定の更新について、自動更新等の機能が一般化していると思われる対策については、回答選択肢から除外しました。
回答選択肢	○設置していて、定期的に設定を見直している ○設置しているものの、定期的に設定を見直していない ○設置していない ○非公開	☐ ファイアウォールまたは類似の通信制御 ・ 見直しまたは最新化の実施有無 ●ルールの定期見直しまたは自動的な最新化を実施している ●見直しや最新化は実施していない ☐ IPSもしくはIDS、または類似の機能 ☐ WAF ○未実施 ○非公開	
設問	（NW-3）不正なパケットを自動的に発見または遮断するためにIPSやIDSを導入していますか。		
回答選択肢	○導入していて、定期的に設定を見直している ○導入しているものの、定期的に設定を見直していない ○導入していない ○非公開		
設問	（NW-4）Webアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃等を防止するため、WAFを導入していますか。		
回答選択肢	○導入していて、定期的に設定を見直している ○導入しているものの、定期的に設定を見直していない ○導入していない ○非公開		

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を見直し

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AT-1）サービス利用者側のアカウントについて、一般的な利用者権限と、管理者権限等の特権を分離していますか。	（AT-1）クラウドサービス利用者のアカウントについて、利用企業側で追加や削除、権限変更などが可能ですか。また、それらが可能なロールなどを限定していますか。	・（AT-1）プロバイダー側で利用者のアカウントを管理するサービスが存在するため、アカウントの管理主体について確認する設問を追加しました。
回答選択肢	○はい ○いいえ ○非公開	○クラウドサービス利用者がアカウントの追加、削除、権限変更などを実施可能 ・当てはまるものを選択してください ●特定のロール（権限）を持つアカウントのみが当該処理を実施可能 ●処理の実施にあたり特定のロール（権限）は不要（通常のアカウントで実施可能） ○クラウドサービス事業者が管理する ○その他 ・詳細をご記載ください ○非公開	・（AT-2）設問の表現を見直しました。
設問	（AT-2）サービス利用において利用者権限とユーザーアカウント管理権限等の特権アカウントでどのような管理機能を分離していますか。	（AT-2）クラウドサービス利用者が用いる管理者アカウントには、どのような管理機能が設定されていますか、または設定可能ですか。	
回答選択肢	☐ アカウントの追加、削除、利用停止（ロック）等 ☐ アカウントの一覧出力・表示 ☐ アカウントやグループ単位でのデータアクセスや実行可能機能の制御 ☐ ログのダウンロード ☐ その他 ・詳細を記載してください ○該当なし ○非公開	☐ アカウントの追加、削除、利用停止（ロック）等 ☐ アカウントの一覧表示またはファイル出力 ☐ アカウントやグループ単位でのデータアクセスや実行可能機能の制御 ☐ ログイン情報や操作ログのダウンロード ☐ その他 ・詳細をご記載ください ○該当なし ○非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を追加

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AT-3）サービス利用者のログイン情報について、利用者側の管理者権限を有するユーザーが利用する管理画面や、監査ログのダウンロード機能などにより提供可能な情報や制約を選択してください。	（AT-3）クラウドサービス利用者のアクセスやログイン記録について、利用者が確認可能な項目や、記録の制約などをすべて選択してください。	・設問の表現を簡潔にし、サービス利用者がアクセスできるログであることを明記しました。
回答選択肢	☐ ログイン関連 ■ ログインID ■ ログイン日時 ■ ログアウト日時 ■ ログイン認証の成否 ☐ アクセス元 ■ IPアドレス ■ ホスト名 ☐ ログの提供期間を規定 ・ 期間 [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：ログイン日時から1年間保管など） ☐ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ 該当なし ☐ 非公開	☐ ダウンロード機能などにより、利用者がアクセスログを確認可能（ログに含まれる項目を選択してください） ■ ログインID ■ ログイン日時 ■ ログアウト日時 ■ ログイン元情報（IPアドレス、端末情報など） ■ ログイン認証の成否 ☐ ログや記録を閲覧可能な期間が限定されている ・ 期間をご記載ください [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：ログイン日時から1年間保管など） ☐ 提供機能はないが、利用者の要請に応じて提供・受渡が可能 ☐ その他 ☐ 該当なし ☐ 非公開	・サービス利用者がログを取得できる機能はないものの、当該ログは保管されていて、プロバイダーに要請した場合にログを提供できるというケースが多く、これを反映する回答選択肢を追加しました。

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を追加

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AT-4）サービス利用者の操作について、利用者側の管理者権限を有するユーザーが利用する管理画面や、監査ログのダウンロード機能などにより提供可能な情報や制約を選択してください。	（AT-4）クラウドサービス利用者の操作記録について、利用者が確認可能な項目や、記録の制約などをすべて選択してください。	・AT-3と同様、設問の表現の簡易化し、機能以外でのログ提供の選択肢を追加しました。
回答選択肢	☐データの作成・更新・削除記録 ☐データの閲覧・検索記録 ☐アカウントの作成・更新・削除記録 ☒操作権限（ロール）変更履歴 ☒管理権限の付与・はく奪 ☒パスワード変更（履歴） ☐データのアップロード履歴 ☐データのダウンロード履歴 ☐ログの提供期間を規定 ・期間 ☐その他 ・アプリケーション機能の実行記録(機能名など)、詳細をご記載ください ☐該当なし ☐非公開	☐ダウンロード機能などにより、利用者が操作ログを確認可能（ログに含まれる項目を選択してください） ☒データの作成・更新・削除記録 ☒データの閲覧・検索記録 ☒データのアップロード履歴 ☒データのダウンロード履歴 ☒アカウントの作成・更新・削除記録 ☐ログや記録を閲覧可能な期間が限定されている ・期間をご記載ください [補足]: 利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：アクションの実行日から1年間保管など） ☐機能はないが、利用者の要請に応じて提供・受渡が可能 ☐その他 ☐該当なし ☐非公開	

☐ダウンロード機能などにより、利用者が操作ログを確認可能（ログに含まれる項目を選択してください）

☒データの作成・更新・削除記録

☒データの閲覧・検索記録

☒データのアップロード履歴

☒データのダウンロード履歴

☒アカウントの作成・更新・削除記録

☐ログや記録を閲覧可能な期間が限定されている

・期間をご記載ください

[補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：アクションの実行日から1年間保管など）

☐機能はないが、利用者の要請に応じて提供・受渡が可能☐その他

☐該当なし

☐非公開

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として
設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

● 設問のスコープを明確化			
	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（EF-1）サービス利用者が電子メールを送信する機能はありますか。	（EF-1）クラウドサービス利用者が電子メールを送信する機能はありますか。	・（EF-3）設問のスコープを明確化するため、補足を追加しました。 ・クラウドサービスが自動で送信する通知メール等と、サービス上でユーザーがメールを送受信できる機能の双方が含まれると明記しました。
回答選択肢	○はい ○いいえ ○非公開	（変更なし）	
設問	（EF-2）サービス利用者が電子メールを送信する機能について、その機能の使用可否はサービス利用者の管理者権限で設定できますか。	（EF-2）クラウドサービス利用者が電子メールを送信する機能について、その機能の使用可否は利用者が設定できますか。	
回答選択肢	○はい ○いいえ ○非公開	（変更なし）	
設問	（EF-3）サービス利用者が電子メールを送信する機能について、どのように送信ドメインの詐称（なりすまし）を防いでいますか。	（EF-3）クラウドサービスから送信される電子メールについて、送信ドメインの詐称（なりすまし）対策を選択してください。 [設問補足] クラウドサービスから送信されるメールには、ユーザー操作による送信メールだけでなく、サービス運営上送信されるメール（例：障害発生時の通知メールなど）を含みます。	
回答選択肢	☐ メールの送信ドメインや送信元アドレスが固定されている ☐ SPFレコードの設定が可能 ☐ DKIMの利用が可能 ☐ DMARCの利用が可能 ☐ その他 ・詳細を記載してください ☐ 実施事項なし ☐ 非公開	☐ メールの送信ドメインや送信元アドレスが定型化され変更できない ☐ SPFレコードが設定済みまたは利用可能 ☐ DKIMが設定済みまたは利用可能 ☐ DMARCが設定済みまたは利用可能 ☐ その他 ☐ 未実施 ☐ 非公開	

【プロバイダー様向け】2025年5月設問ごとの変更概要

今回の改訂では、ご要望への対応、より適切な評価実施を目的として設問項目（回答マスタ）の改訂を実施いたします。

- 設問の要素を追加

	現行（v2024.2）	改訂版（v2025.1）	改訂要旨
設問	（AI-2）AIに関するガバナンス・管理として実施していることを選択してください。	（変更なし）	・データの学習利用について、いわゆるオプトアウトに対応する選択肢を追加しました。
回答選択肢	☐ AIサービスの利用者等にむけたサービス規約を作成、明示している ☐ 学習データの収集・利用について、法令遵守のためのルールを定めている ■ 該当するものをすべて選択してください ■ 個人情報に関するルール ■ 知的財産権に関するルール ■ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ 預託データを学習利用する ■ 事前の同意を求めている ■ 隔離した環境を利用している ■ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ その他 ☐ 該当なし ☐ 非公開	☐ AIサービスの利用者等にむけた利用規約などを作成、明示している ☐ 学習データの収集・利用について、法令遵守のためのルールを定めている ■ 該当するものをすべて選択してください ■ 個人情報に関するルール ■ 知的財産権に関するルール ■ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ 預託データを学習（モデルのトレーニング、ファインチューニングを含む）に利用する ■ 事前の同意を求めている ■ データを学習利用させない設定が可能である ■ 隔離した環境を利用している（インプットしたデータが利用者以外に対して出力されない） ■ その他 ・ 詳細を記載してください ☐ その他 ☐ 該当なし ☐ 非公開	